

牛伏(うしぶせ)川本流水路(牛伏川階段工) Df/Df



Ver.1(2020/2/1)

災害伝承 DATA

所在地：長野県松本市大字内田字内田山
緯度・経度：北緯 36 度 09 分 41.4 秒
東経 138 度 01 分 19.8 秒
伝承形式：土木構造物・工事
種類 / 要因：土石流 / 土石流
災害発生：江戸時代～
建立時期：1916 年～1918 年（大正 5～7 年）
指定等：重要文化財
周辺地形：山地

言い伝え・伝説



観光情報はこちら

牛伏川が流れる筑摩山地は盗伐や野火によりかつて荒廃し、度々土砂災害が発生しました。下流の新潟港への土砂流出等も問題となり、内務省直轄で砂防工事に着手、県が受け継ぎました。整備された流水路は重要文化財に指定されています。

周辺案内

牛伏川本流水路の階段状の水路は周辺の地形に合うように考えられたもので、技術的、歴史的に高い価値があります。一帯には多様な落葉樹が群生しており、シーズンには見事な紅葉が見られます。また、水路の下流右岸側には金峯山牛伏寺（きんぼうさんごふくじ）という寺があり、仏像や建物などが重要文化財に指定されています。